

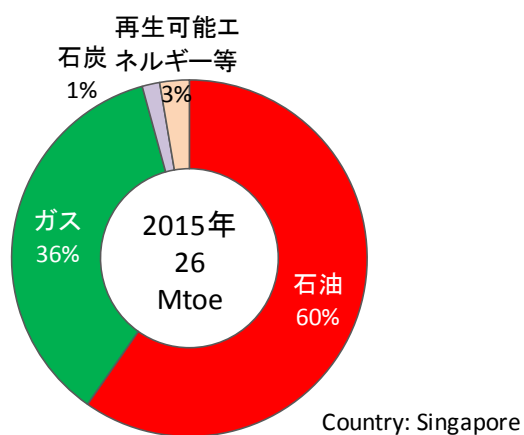
1-14 シンガポール

1. サマリー

1. エネルギー事情

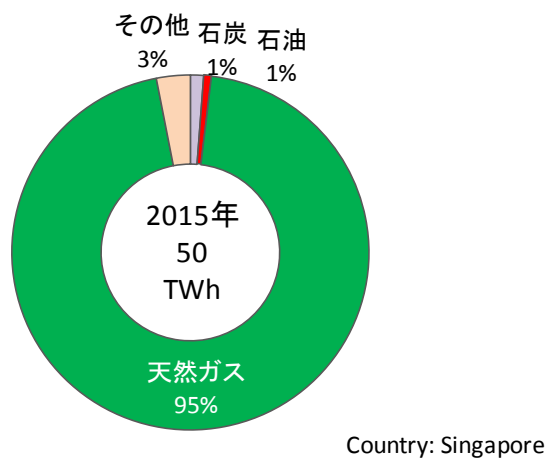
- (1) 一次エネルギー供給量(2015年) : 26 百万 toe (日本の 0.06 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量(2015年) : 4.63toe (日本の 1.37 倍)
- (3) エネルギー自給率(2015年) : 2%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量(2015年) : 44.4 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 3.9%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量(2015年) : 8.00 CO₂ 換算 ton (日本の 88.9%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 原油 0 年、天然ガス 0 年、石炭 0 年

一次エネルギー供給構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー政策の立案・実行機関は通商産業省 (MTI: Ministry of Trade and Industry) が担当しており、エネルギー市場監督庁 (EMA: Energy Market Authority) が電力・ガス市場における自由化の促進およびエネルギー市場の規制を行っている。

(2) 基本政策

- エネルギー供給源の多様化、エネルギーインフラ及びエネルギーシステムの強化、エネルギー効率の向上、グリーン経済の強化、適正なエネルギー価格体系の整備を重要な戦略課題としている。

(3) 最近の動向

- 2017年10月、エネルギー市場監督庁は事業者だけでなく、一般世帯も電力会社を自由に選べる電力市場の完全自由化を、2018年4月にまず西部の Jurong 地区から実施すると発表した。消費者は電力小売業者として登録した会社と自由に電力購入契約を結ぶことができる。現在のグループとの契約継続も可能。2018年後半にはシンガポールの残りの一般世帯にも拡大する予定である。
- 2017年10月、エネルギー市場監督庁と SP Group(旧 Singapore Power)は、国内初となる実用規模の電力貯蔵システムの試験展開に向けて、シンガポールの2つの企業連合 (CW Group 連合、Red Dot Power 連合) に計 1,780 万シンガポールドルの助成金を給付すると発表した。シンガポールは 2020 年を目処に国内の太陽光発電の出力を 1GWp (ギガワットピーク) に引き上げる目標を掲げている。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- シンガポールは、日本にとって重要な石油製品輸入の供給源の一つである。2016年におけるわが国のシンガポールからの石油製品輸入量はナフサ 12.5 万 KL、B・C 重油 113 万 KL となっている。
- 2017年4月、資源エネルギー庁、外務省とシンガポール・エネルギー市場監督庁は、初めてのエネルギー対話を実施した。両者は、「地域ガス開発」「ガス・電力市場の自由化」「多国間のフォーラムにおける協力」について議論した。特に、地域のガス取引や価格ハブ及び LNG バンカリングに関する最近の状況について意見交換を実施し、透明かつ競争力があり、流動性の高い天然ガス市場の構築の重要性を共有し、この分野での協力の可能性についても議論した。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Singapore

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		26 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		4.63 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.09 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		2 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		44.4 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		8.00 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	2 %
	石油	60 %
	天然ガス	36 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	3 %
(8) エネルギーの輸入依存度		98 %
(9) 石油の輸入依存度		100 %
(10) 輸入原油の中東依存度		89.0 %
(11) 原油の輸入先	第1位	UAE
	第2位	サウジアラビア
	第3位	カタール

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : PIW TOP 20 Crude oil Exporters/Importers